

第5回 学習活動の基礎知識(2)

これまでのゼミの資料は、次のサイトに公開されています。印刷した資料が必要な場合は、サイトからプリントアウトしてください。

- <http://arena.hyogo-dai.ac.jp/~kawano/kisozemi/>
- ゼミに関する書籍などの情報もあります。

前回（前々回）の宿題

自分で宣言した「2つの工夫」をした実際のノートを紹介してみましょう。

- どの科目でもよいので、実際にどの程度工夫ができたかを説明
- 各自のノートを持ち寄って、情報交換してみましょう

前回の宿題とした、自分の地元についてのマインドマップについても、簡単に説明してもらいます。

資料や情報の収集への取り組み方

1. テーマに関する全般的な知識や動向を調べる
2. テーマに関する基礎的な知識や専門用語などを調べる
3. テーマに関する最新の知識や動向を調べる
4. テーマに関連する他の分野の知識や情報を調べる

調べ出した資料や情報は、メモしたり、コピーまたは印刷して、記録として残して整理しましょう。

- 文献などの資料：コピーをしたり、「文献メモ」を作成しておく
- ネット上の情報：印刷したり、ブラウザの「お気に入り」に追加しておく

資料の種類

- 参考図書（レファレンス・ブック）：学問全般について知りたい場合に役立つ
 - 辞書、事典、百科事典、年間、統計資料、白書、文献目録など
- 新聞：比較的新鮮な情報を入手できるが、情報が断片的な場合がある
 - 一般紙（全国紙：毎日、読売、朝日、産経、日本経済、地方紙：神戸新聞など）
 - スポーツ紙・レジャー紙（日刊スポーツ、サンケイスポーツなど）、専門誌、業界紙、機関紙、広報紙
- 図書／単行本：特定分野の知識が体系的にまとまっているが、できあがるのに時間がかかる
 - 文庫本、新書、専門書など
 - 一次資料（オリジナルの資料）と二次資料（一次資料に基づく資料；年鑑、索引、蔵書目録も含む）
- 雑誌、逐次刊行物（定期刊行物）：特定分野の現状や新しい話題について、詳しい情報が得られて、内容もコンパクト
 - 一般雑誌（月刊誌、週刊誌など）
 - 学術雑誌（学術雑誌、論文誌、講演論文集、学術定期刊行物など）
- インターネット上の情報：情報の量は多いが、書き換えや削除されることがあるので、再検証にくい
 - マスコミのサイト（新聞やテレビなど報道機関）
 - 行政（政府や自治体）、企業・各種団体のサイト
 - フリーの百科事典（Wikipediaなど）、まとめサイト、個人のサイト（日記、ブログなど）

図書館での資料の分類

- 日本十進分類法（NDC：Nippon Decimal Classification）
 - 資料の背に張られたシールに書かれている番号

- 資料のテーマ (主題、分野) ごとに分かれている (例) 芸術→スポーツ、体育→球技 : 「783」

インターネットで資料を探す

大学図書館のサイトから利用できるものもありますから、チェックしておきましょう。なお、有料サービスのため同時アクセス数が制限されているものもあります。

実際にいくつかのサービスにアクセスしてみましょう。

1. 全国のOPAC (蔵書カタログ) の検索

- 大学のOPAC (兵庫大学: <http://media.hyogo-dai.ac.jp/lib/>)
- Webcat plus (国立情報学研究所: <http://webcatplus.nii.ac.jp/>)
- NDL-OPAC (国立国会図書館: <http://opac.ndl.go.jp/>)
- カーリル (日本最大の図書館検索サイト: <http://calil.jp/>)

2. 書店や古書店のデータベース

- Books.or.jp (日本出版協会: <http://www.books.or.jp/>)

3. 雑誌記事検索

- NDL-OPACの雑誌記事検索 (国立国会図書館: <http://opac.ndl.go.jp/>)
- ジャパンナレッジ・プラス (ネットアドバンス: <http://www.jkn21.com/top/corpdisplay>)

4. 文献の題目・著者・本文などで検索

- CiNii 論文情報ナビゲータ (国立情報学研究所: <http://ci.nii.ac.jp/ja>)
- Google Scholar (Google: <http://scholar.google.co.jp/>)

5. 電子ジャーナル

- J-STAGE (科学技術振興機構: <http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>)
- ScienceDirect (エルゼビア: <http://www.sciencedirect.com/>)
- 医中誌Web (医学中央雑誌刊行会: <http://login.jamas.or.jp/>)

6. 白書、統計資料など

- 情報通信白書 (総務省: <http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/>)
- 統計調査結果 (e-Gov 電子政府の総合窓口: <http://www.e-gov.go.jp/link/statistics.html>)

資料を探すときに一番手っ取り早いのは「知っている人に聞くこと」ですが、自分でできることも多くあります。自力で資料や情報を探すときに、心がけることや、工夫するとよいことを考えてみましょう。

資料としての情報の鮮度・信頼性

- 鮮 度: インターネット > 新聞 > 学術雑誌 > 図書 > 参考図書
- 信頼性: インターネット < 新聞 < 学術雑誌 < 図書 参考図書

参考文献

- 学習技術研究会編著「知へのステップ 第3版」, くろしお出版 (2011.04)
- 専修大学出版企画委員会編「知のツールボックス」, 専修大学出版局 (2006.04).
- 佐藤望編著, 湯川武, 横山千晶, 近藤明彦「アカデミック・スキルズ」, 慶応義塾大学出版会 (2006.10).

次回（5月15日）：「文章の書き方 (1)」

- 「基礎ゼミ」で学習支援センターが連携して、授業を行う
 - 「文章を書く (ライティング)」がテーマ (予定)
 - 9時に5号館402教室へ集合 (教室を間違えないこと！)